

伝道師認可指揮

司祭は志願者を主教または主教の指名を受けた司祭の前に伴い、次のように推薦する。

この人々を日本聖公会の伝道師に任ぜんことを願う

主教は言う

なんじこの人々のことを調査し、品行正しく聖書に通じたる者と認むるか

司祭は答える。

しかり。この人々を調査し、伝道師の職に適するものと認む

主教は次のように言う。

わが子よ、なんじら神の公会にて伝道師とならんと欲せば、よろしくその責任の重きを熟考し、その職を尽くす力を全能の神に求むべし。おおよそ伝道師たる者は怠らず聖書を説き、ねんごろに洗礼志願者の教え、未信者または道を離れんとする者を導き、聖公会の法規に定めたる職務を熱心に尽くすべし。さればなんじらに問わん

主教 なんじ怠らず聖書を研究し、これを教うることを努むるか

答 我これを努む

主教 なんじ慎みてなんじの主教、司祭に従うか

答 我これに従わん

ここで会衆はひざまずく

主教 主よ、主のしもべを救いたまえ

会衆 彼は主にたれより

主教 その口に知恵を語らしめたまえ
会衆 その舌に公平を宣べしめたまえ
主教 そむける者に主の道を教えしめたまえ
会衆 さらば罪びと主に帰らん
主教 主のさとしをもって彼をみちびきたまえ
会衆 主の栄光のうちに彼を入れたまえ
主教 主よ、我らの祈りをききたまえ
会衆 我らの声を主の御前に至らせたまえ
主教 我ら祈るべし

すべての良き賜物をあたえたもう全能の神よ、御名をあまねく世に現わすことを我らに命じたまえり。願わくはこのしもべに恵みをくだし、伝道師の職務を尽くさしめ、御言葉をしらぶる知恵を与え、これを教うる力を授けたまえ。また言葉をつつしみ、行いを清くし、罪びとを主に導くことを努め、また常に主の慰めをもうむりてあやうきを忍び、悩みに耐え、ついに限りなき命に至ることを得させたまえ。主イエスキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

次に主教は認可状を与えて次のように言う。

父と子と聖霊の御名により、神の公会の伝道師の職務を行のうことを認可す。なんじ正しく神の御言葉を伝うることを努めよ

次に主教は左の祝福を用いる。

願わくは父と子と聖霊なる全能の神の恵み、なんじらの上に臨み、常になんじらとともにあらんことを。アーメン